|  |
| --- |
| **【様式1】　提案書（研究開発プロジェクト）** |
| 研究開発プロジェクト名 | *※和文プロジェクト名（e-Radに入力した研究開発課題名）(30字程度)* |
| *※英文プロジェクト名* |
| キーワード | *※貴提案の研究開発内容を端的に表すキーワードを記載してください。e-Radに入力するキーワードと同一のものにしてください。* |
| 研究開発期間 | (1)全期間（（2）+（3）） | 2022年10月～ 年 月（　年　ヶ月）*※最長2027年3月* |
| (2)スモールスタート期間 | 2022年10月 ～ 2024年3月 （1年6ヶ月） |
| (3)本格研究開発期間 | 2024年4月 ～ 年 月 （　年　ヶ月）*※最長2027年3月* |
| 希望する研究開発費（直接経費） | (1)全期間（（2）+（3）） |  （千円）*※上限75,000千円* |
| (2)スモールスタート期間 |  （千円）*※上限18,000千円* |
| (3)本格研究開発期間 |  （千円）*※上限57,000千円* |
| 研究代表者氏名 | （フリガナ） |  | 生年月日（西暦） |  年 月 日（ 歳）(2022年4月１日現在) |
| （漢字等） |  |
| 研究代表者所属機関・部署・役職 |  |
| 協力組織 | *※共同研究機関や協力機関など、プロジェクトに協力する関与者・組織を記載してください。* |
| PoC実施場所・対象 | *※PoC（Proof of Concept：概念実証）を実施する、具体的な国内の特定地域や学校、職場、コミュニティなどを記載してください。*　 |
| 本提案のエフォート | 2022年度：　　　　　％*※研究代表者のエフォートについて記載してください。* |
| 総括との利害関係 | プログラム総括との利害関係が　　　　　　　　　　　　　　□ある　　　　□ない*※「様式11利益相反マネジメント」と対応させてください。* |
| アドバイザーとの利害関係 | プログラムアドバイザーとの利害関係が　　　　　　　　　　□ある　　　　□ない*※「様式11利益相反マネジメント」と対応させてください。* |
| 研究開発提案者の利益相反 | 研究代表者に関係する機関に所属する主たる実施者の参画が　□ある　　　　□ない*※「様式11利益相反マネジメント」と対応させてください。* |
| 備考欄 |  |

*・・・様式1は１ページ以内・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

|  |
| --- |
| **【様式２】　研究開発プロジェクトの要旨** |
| プロジェクト名 | *※和文プロジェクト名（e-Radに入力した研究開発課題名）(30字程度)* |
| 研究代表者 | *〇〇　〇〇（所属機関・部署・役職）* |
| 【プロジェクトの要旨】*※以下の項目について要旨を分かりやすく簡潔に記載してください。*１．解決すべき社会的孤立・孤独の予防に係る具体的な問題と達成すべき目標・成果２．研究開発要素①②③の概要（１）研究開発要素①「社会的孤立・孤独メカニズム理解と、社会的孤立・孤独を生まない新たな社会像の描出」（２）研究開発要素②「人や集団が社会的孤立・孤独に陥るリスクの可視化と評価手法（指標等）の開発」（３）研究開発要素③「社会的孤立・孤独を予防する社会的仕組み」 |

*・・・様式2は１ページ以内・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式３】　研究開発プロジェクトの全体構想（全研究開発期間）**

*※スモールスタート期間及び本格研究開発期間（ステージゲート評価通過の場合）を合わせた全研究開発期間の全体構想について記載してください。*

**1．解決すべき社会的孤立・孤独の予防に係る具体的な問題とその原因**

**（１）研究開発プロジェクトで対象とする「社会的孤立・孤独」の定義**

*※プロジェクトの対象とする、社会的孤立・孤独とは何か、定義や考えを記載してください。その際、社会的孤立・孤独を当事者の自己責任と捉えるのではなく、社会・環境・時代も含めた視点で分析するという本プログラムの主旨を踏まえたものとしてください。*

**（２）具体的な問題とその社会的背景や原因**

*※プロジェクトの対象とする、社会的孤立・孤独の予防に係る、解決すべき具体的な「問題」は何か、解決にあたりどのような「社会的背景や原因」があるのか、について客観的な根拠に基づいて提示してください。*

**（３）研究開発プロジェクトの意義や独創性**

*※これまでの類似の取り組みや政策・施策、研究等では、なぜ問題が解決できないのか、国内外の関連する研究開発や取り組みの動向とその課題を整理した上で、プロジェクトの意義や独創性を提示してください。*

**２．社会的孤立・孤独を生まない新たな社会像、一次予防のためのビジョン**

*※プロジェクト終了後も含めて、「どのような成果」が、「誰（人・組織等）」に活用され、「どのように集団・組織・地域等が変容」し、社会的孤立・孤独を生まない社会につながると考えているのか、記載してください。*

*※本プログラムでは、既存の社会的孤立・孤独に関する取り組みの知見を活用しながらも、社会の構成員全体を対象にした社会的要因の改善により、そもそも社会的孤立・孤独を生まない社会的仕組みを創るという、一次予防の観点を重視しています。どのようにプロジェクトにおいて社会的孤立・孤独の一次予防につなげるのか、展望について提示してください。*

**３．PoCの実施を含め、プロジェクトで達成する目標**

*※スモールスタート期間及び本格研究開発期間を通じて、PoCの実施を含め、研究開発プロジェクトで達成する目標について、簡潔かつ明確に記載してください。*

**４．ウィズコロナ・ポストコロナの社会における貢献**

*※2020年以降の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な流行により、社会的孤立・孤独の問題が顕在化・深刻化する中、今後、ウィズコロナ・ポストコロナの社会における望ましいつながり・ネットワークのありかたを追求し、これを積極的に構築していくために、どのように貢献できるか記載してください。*

**５．PoC実施を含め、プロジェクトの目標達成のために解決すべき課題、ボトルネック**

*※PoC実施を含め、プロジェクトの目標達成に向けた課題・障壁や困難さ等のボトルネックや考えられるリスク（多様な関与者との連携や、技術開発が失敗する可能性）などを提示するとともに、その解決策や代替策の提案について記載してください。*

**６．プロジェクト終了後（本格研究開発後）の成果の活用・展開**

**（１）プロジェクトの成果の社会実装に関する構想**

*※本格研究開発が終了して、PoCの実施を含め、プロジェクトの目標を達成した後に、プロジェクトの成果を、誰が、どのように、資金をどう確保しながら、対象とする地域や他の地域、組織等へ普及・展開していこうと考えているのか、社会実装の道筋の想定を記載してください。*

**（２）プロジェクトの成果の波及効果、インパクト**

*※プロジェクトの成果がどのようなインパクト（学術的・公共的価値の創出、現在及び将来の社会・産業ニーズへの貢献、国内外の他の分野・地域への波及・展開など）をもたらし得るのか、提案時点での想定を記載してください。その際、どのような長期的アウトカムがSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の達成に貢献できるのか、展望を含めてください。*

*・・・様式３は６ページ以内（目安）・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式４】スモールスタート期間の構想**

*※スモールスタート期間のみの構想について記載してください。*

**１．スモールスタート期間の目標及び成果**

*※スモールスタート期間に達成しようとする目標・成果について、300字～600字以内で簡潔に記載してください。定量的な目標設定が可能なものについては、可能な限り提示してください。*

*※本項目の内容をe-Rad「基本情報」の「研究概要」に転記してください。*

**２．スモールスタート期間に取り組むべき事項（ステージゲート評価項目）**

**（１）研究開発要素①②③をPoCまで一体的に推進する計画の具体化**

*※公募要領「3.2 研究開発対象」にある研究開発要素「①社会的孤立・孤独メカニズム理解と、社会的孤立・孤独を生まない新たな社会像の描出」、「②人や集団が社会的孤立・孤独に陥るリスクの可視化と評価手法（指標等）の開発」、「③社会的孤立・孤独を予防する社会的仕組み」の全てをPoCまで一体的に推進する計画を、スモールスタート期間中にどのように具体化するのか、記載してください。*

*※計画の具体化に当たって、研究側と施策現場側双方のニーズや課題の相互理解をどのように促進するのか、記載してください。*

**（２）PoC実施を含め、プロジェクトの目標達成に対するボトルネックの解決へ向けた道筋の明確化**

*※PoC実施を含め、プロジェクトの目標達成に向けて、本格研究開発期間中に課題・障壁や困難さ等のボトルネックを解決するための道筋を、スモールスタート期間中にどのように明確化するのか、提示してください。*

**（３）多様な関与者が協働する体制の構築**

*※公募要領「3.2 研究開発対象」にある研究開発要素「①社会的孤立・孤独メカニズム理解と、社会的孤立・孤独を生まない新たな社会像の描出」、「②人や集団が社会的孤立・孤独に陥るリスクの可視化と評価手法（指標等）の開発」、「③社会的孤立・孤独を予防する社会的仕組み」の全てをPoCまで一体的に推進するために、人文・社会科学や自然科学の研究者並びに施策現場など社会の多様な関与者が協働する体制をどのように構築するのか、記載してください。*

**（４）PoC実施の対象と仕組みの整備**

**①PoC実施の対象（国内の特定地域/学校/職場/コミュニティなど）**

*※PoC実施の対象とする国内の特定地域や、学校、職場、コミュニティなどを具体的に提示してください。*

**②PoC実施の仕組みの整備**

*※PoC実施のために、開発した社会的孤立・孤独の予防施策等の効果を施策現場で実証できる仕組みをどのように整備するのか記載してくさい。*

**（５）プロジェクトの成果が将来もたらし得るインパクトやSDGs達成への貢献の描出**

*※プロジェクトの成果が将来もたらし得るインパクト（学術的・公共的価値の創出、現在及び将来の社会・産業ニーズへの貢献、国内外の他の分野・地域への波及・展開など）や、長期的アウトカムがSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の達成に貢献する道筋をスモールスタート期間中にどのように描出するのか、記載してください。*

*・・・様式４は５ページ以内（目安）・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式５】　研究開発プロジェクトの計画**

**１．スケジュール**

*※次項の「２．具体的な計画」との整合性に留意しながら、以下の記載例を参考に、各実施項目間の関係性が分かるように主なスケジュールを記載してください。また、できるだけPDCAや、マイルストーン（いつまでに何を達成するのか、目標達成に向けて節目となる工程や指標）を記載してください。*

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **実施項目** | **初年度**(2022年10月～2023年3月) | **2年度**(2023年4月～2024年3月) | **3年度**(2024年4月～2025年3月) | **4年度**(2025年4月～2026年3月) | **最終年度**(2026年4月～〇年〇月) |
| **大項目1****中項目1－１**○○グループ**中項目2－２**△△グループ |  | **ステージゲート評価** |  |  |  |
| **大項目2****中項目2－１**○○グループ**中項目2－２**△△グループ |  | マイルストーン① |  |  |  |
| **大項目3****中項目3－１**○○グループ**中項目3－２**△△グループ |  |  |  | マイルストーン② |  |
| **大項目4****中項目4－１**○○グループ**中項目4－２**△△グループ |  |  |  |  |  |

本格研究開発期間　※ステージゲート評価通過の場合

スモールスタート期間

**２．具体的な計画**

*※前項の「１．スケジュール」との整合性に留意しながら、PoC実施を含め、プロジェクトが目指す目標達成に向けて、どのような関与者と、どのような方法で、何をするのか、各実施項目を具体的に記載してください。*

*※スモールスタート期間と本格研究開発期間（ステージゲート評価通過の場合）に分けて記載してください。*

*※各実施項目間の関係性が分かるように記載してください。また、できるだけPDCAや、マイルストーン（いつまでに何を達成するのか、目標達成に向けて節目となる工程や指標）を記載してください。*

*※多様な関与者からフィードバックを受ける方法や、研究開発の節目に公表等を行い外部から適切に意見を集め、検証・改善していく方法についても記載してください。*

**（１）スモールスタート期間中の実施項目**

■項目１：〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

①〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

②〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

■項目2：〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

①〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

②〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

**（２）本格研究開発期間中の実施項目（ステージゲート評価通過の場合）**

■項目１：〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

①〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

②〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

■項目2：〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

①〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

②〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

**（3）提案に当たっての準備状況**

*※プロジェクトを推進するにあたり基盤となる、*

*・提案者自身（必要に応じてプロジェクトの他の実施者）のこれまでの研究開発の経緯や実践的な取組の成果*

*・現時点でのプロジェクト実施者間及び問題解決に取り組む人々との関係性の構築状況、今後の見込み*

*・その他、予備的な知見やデータ（存在する場合）*

*について具体的に記載してください。*

*・・・様式５は５ページ以内（目安）・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式６】　研究開発費の見込み**

**１．費目別の研究開発費（直接経費）の見込み（全期間/プロジェクト全体）**

*※スモールスタート期間、本格研究開発期間を含め、プロジェクト全体の全期間について記載ください。*

*※間接経費は、原則直接経費の30％を上限として措置されます。本表への記載は不要です。*

*※各費目において支出可能な経費の詳細は、「5.5 研究開発費」を参照してください。*

単位：千円

| 研究開発費(直接経費) | 初年度(2022年10月～2023年3月) | 2年度(2023年4月～2024年3月) | 3年度(2024年4月～2025年3月) | 4年度(2026年4月～2026年3月) | 最終年度(2026年4月～〇年〇月) | 合計 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| スモールスタート期間 | 本格研究開発期間（ステージゲート評価通過の場合） |
| 物品費 |  |  |  |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |  |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |

**２．主要費用項目**

*※主要費用項目の使途目的を説明してください（単位：千円）。特に全経費に占める割合の大きいものは研究開発活動上の必要性がわかるように記載してください。*

**３．研究開発費（直接経費）の内訳（2022年度/契約予定機関別）**

*※2022年度（6ヶ月分）の主な使途について、研究開発費の内訳をJSTからの研究費の配分を必要とする参画機関（契約予定機関）毎に記入してください。*

*※JSTでは提案課題の選考と並行して研究契約締結のための事前調査を実施しています。本項に2022年度の契約予定機関として記載の無かった機関とも採択後の契約締結は可能ですが、事前調査が研究開始に間に合わず、当該機関との契約締結が遅れる可能性があります。なお、契約のための事前調査の結果は、提案課題の選考の経過・結果に影響を与えるものではありません。*

| 契約予定機関（研究代表者/主たる実施者） | 費目 | 品名 | 積算根拠（単価・個数等）（千円） | 概算額（千円） |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| *研究機関名**（研究代表者名）* | *物品費**旅費**人件費・謝金**その他* | *ソフトウェア**国内出張**技術補助* | *@16×1個=16**@20×10回=200**@1/時間×6時間/日×20日/月×6ケ月=720* | *936* |
| *研究機関名**（主たる実施者名）* | *物品費**旅費**人件費・謝金**その他* | *ソフトウェア**国内出張**技術補助* | *@16×1個=16**@20×10回=200**@1/時間×6時間/日×20日/月×6ケ月=720* | *936* |
| *研究機関名**（主たる実施者名）* | *物品費**旅費**人件費・謝金**その他* | *ソフトウェア**国内出張**技術補助* | *@16×1個=16**@20×10回=200**@1/時間×6時間/日×20日/月×6ケ月=720* | *936* |

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式７】　研究開発プロジェクトの実施体制**

**１．研究開発実施体制（プロジェクト全体）**

*※研究開発体制を図示してください（以下の記載例は参考です、形式自由）。*

*※グループを構成する場合、提案するプロジェクトの内容や計画に合わせて、適切に設定してください（JSTとの委託研究契約を締結する機関の単位でなくとも構いません）。*

*※グループを構成する場合、グループリーダーの「氏名・所属・役職（専門分野）」と各グループの「主な役割」を記載の上、グループ間の関係性が分かるように示してください。*

*※研究開発実施者以外の協力者がいる場合には、協力者との関係についても記載してください。*

＜記載例＞

**２．研究開発実施体制（グループ別）**

*※グループごとにメンバーを記載してください。*

*※研究実施者は複数のグループに所属することができます。*

**２－１．〇〇〇グループ（研究代表者が率いるグループ）**

**（１）実施項目**

*※「様式５」の「１．スケジュール」に記載した実施項目の中から記載してください。*

**（２）プロジェクトにおける本グループの位置づけ**

*※当該グループが、プロジェクト全体の中でどのように位置づけられるのか、その役割を記載してください。また、複数グループがある場合には他グループとの関係性を簡潔に説明してください。*

**（３）実施者リスト**

*※エフォートには、実施者の年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち本プロジェクトの実施に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。エフォートは、予算執行を行う研究担当者（委託研究を中心的に行う者として委託研究契約書に記載される者（研究代表者、主たる実施者））について記載し、他は斜線にしてください。*

*※研究実施者の内、提案時に氏名が確定していない場合は「研究員〇名」「アルバイト〇名」といった記載でも構いません。*

*※研究実施者の行は必要に応じて追加してください。*

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究代表者****氏名** | **所属** | **役職****（身分）** | **エフォート** | **役割** |
| *○○ ○○* | *○○大学 ○○学部* | *准教授* | *○○%* | *統括・全体調整* |
| **研究実施者****氏名** | **所属** | **役職****（身分）** | **エフォート** | **役割** |
| *○○ ○○* | *○○市○○課* |  |  | *地域との調整、ニーズ探索* |
| *○○ ○○* | *○○大学○○部* | *教授* | *○○%* | *○○研究の設計・研究者の探索* |
| *研究員○名* |  |  |  |  |

**２－２．〇〇〇グループ**

*※複数のグループを構成する場合、２－１と同様に、以下にグループごとに記載してください。グループ数に上限はありませんが、研究代表者の研究開発構想の遂行に最適で必要十分なグループを編成してください。*

*※グループ数に応じて、本項目をコピーして追加してください。*

**（１）実施項目**

**（２）プロジェクトにおける本グループの位置づけ**

**（３）実施者リスト**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **グループ****リーダー****氏名** | **所属** | **役職****（身分）** | **エフォート** | **役割** |
| *○○ ○○* | *○○大学 ○○学部* | *准教授* | *○○%* | *ワークショップの設計・実施* |
| **研究実施者****氏名** | **所属** | **役職****（身分）** | **エフォート** | **役割** |
| *○○ ○○* | *○○大学○○部* | *教授* | *○○%* | *○○研究の設計・研究者の探索* |
| *○○ ○○* | *○○市○○課* |  |  | *地域との調整、ニーズ探索* |
| *研究員○名* |  |  |  |  |

**３．その他の研究開発協力者・機関**

*※プロジェクトに直接的に参画するのではないが、プロジェクトや各グループの活動に、何らかのかたちで連携・協力する者や機関（すでに了解を得ている、あるいは交渉中である者や機関）があれば、ここに記載してください。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 協力者・協力機関名 | 協力内容 | これまでの協力関係の有無 |
| *○○大学 ○○学部 ○○○○教授* | *○○実施の協力* | *有* |
| *○○○○株式会社 ○○部* | *○○のデータ提供、現場との連携調整* | *有* |
| *○○市役所 ○○部 ○○課* | *○○に関する助言* | *無* |
| *NPO法人○○ ○○○○理事* | *○○に関する助言、協力* | *有* |

**4．実施体制に関する特記事項（代表者の特別任務、所属機関の変更、海外機関の参画）**

*※研究代表者が、特別の任務（研究科長等の管理職、学会長など）により仕事時間（エフォート）を要している場合には、その旨を記載してください。*

*※研究代表者及び主たる実施者が、現在の所属機関と、採択後（2022年10月以降）に研究を実施する機関が異なる場合には、その旨を記載してください。*

*※海外の機関に所属する方が、海外の機関を拠点に主たる実施者としてプロジェクトに参加される場合、その理由を記載してください（「5.10 海外の機関に所属する方が主たる実施者として参画する場合」「第8章 提案公募Q&A」参照）。*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式８】　他制度での助成等**

*※研究代表者及び主たる実施者が現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的研究費制度やその他の研究助成等（民間財団、海外機関を含む）について、制度名ごとに、研究開発課題名、研究期間、本人受給研究費の額、役割、エフォートを記入してください。*

*※公募要領「6.2　不合理な重複・過度の集中に対する措置」も参照してください。*

*※記載内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。*

*※面接選考の対象となった際には、最新の他制度の助成状況を申告・提出していただきます。*

**研究代表者：〇〇　〇〇**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 受給状況 | 研究開発課題名（代表者氏名） | 研究期間 | 役割(代表/分担) | 本人受給研究費（直接経費） | ｴﾌｫｰﾄ(％) |
| (1)期間全体(2)2023年度予定(3)2022年度予定(4)2021年度実績 |
| SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）※本提案 | 申請中 |  | *2022.10～2027.03* | *代表* | (1)(2)(3)(4) | *27,000*千円*10,000*千円*4,000*千円― | *20* |
| *科学研究費補助金基盤研究（B）* | *受給* | *××による◇◇の開発**（○○○○）*　 | *2019.04**－**2023.03* | *代表* | (1)(2)(3)(4) | *15,000*千円―*3,500*千円*8,000*千円 | *20* |
| *○○財団助成金事業* | *受給* | *××による◇◇の分析**（○○○○）* | *2022.4**－**2023.3* | *代表* | (1)(2)(3)(4) | *1,000*千円――*1,000*千円 | *5* |
| *戦略的創造研究推進事業（CREST*） | *申請**予定* | *××による◇◇の創成**（○○○○）* | *2022.10**－**2027.03* | *分担* | (1)(2)(3)(4) | *30,000*千円*8,000*千円*5,000*千円― | *20* |
|  |  |  |  |  | (1)(2)(3)(4) |  |  |

※以下、適宜項目をコピーして記載ください。

**主たる実施者：△△　△△**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 受給状況 | 研究開発課題名（代表者氏名） | 研究期間 | 役割(代表/分担) | 本人受給研究費（直接経費） | ｴﾌｫｰﾄ(％) |
| (1)期間全体(2)2023年度予定(3)2022年度予定(4)2021年度実績 |
| SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）※本提案 | 申請中 |  | *2022.10～2027.03* | *分担* | (1)(2)(3)(4) | *18,000*千円*2,000*千円*2,000*千円― | *15* |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式９】　関連する業績・取組リスト**

**（１）研究代表者**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 〈経歴〉*※学歴や職歴、取り組みや研究開発の内容について簡単に記載してください。* |
| 〈主要な実績〉*※近年実施した取り組み、著書、学術論文、雑誌・新聞投稿記事等の成果のうち、この提案内容に関連するもの5件以内を選んで、現在から順に実施・発表年次を過去に遡って記入してください。研究代表者本人が代表者・筆頭著者のものについては頭に＊印を付けてください。**＜著書・学術論文等の成果の場合＞**（著者（著者は全て記入してください。）、発表論文名、掲載誌、巻号、ページ、発表年）**＜取り組みの成果の場合＞**（実施主体、取り組みの概要、実施した場所、実施期間、成果等を記載してください。）* |
| 〈RISTEXにおける研究開発への参画経験〉*※過去に社会技術研究開発センターにおける研究開発への参画経験があれば、領域・プログラム名、プロジェクト名、当時の研究代表者名を記載し、自身がどのような役割を担っていたのかについて簡潔に記載してください。* |

*・・・ 研究代表者１人につき１ページ（目安） ・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**（２）グループリーダー**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 〈経歴〉*※学歴や職歴、取り組みや研究開発の内容について簡単に記載してください。* |
| 〈主要な実績〉*※近年実施した取り組み、著書、学術論文、雑誌・新聞投稿記事等の成果のうちこの提案内容に関連するもの5件以内を選んで、現在から順に実施・発表年次を過去に遡って記入してください。グループリーダー本人が代表者・筆頭著者のものについては頭に＊印を付けてください。**＜著書・学術論文等の成果の場合＞**（著者（著者は全て記入してください。）、発表論文名、掲載誌、巻号、ページ、発表年）**＜取り組みの成果の場合＞**（実施主体、取り組みの概要、実施した場所、実施期間、成果等を記載してください。）* |
| 〈RISTEXにおける研究開発への参画経験〉*※過去に社会技術研究開発センターにおける研究開発への参画経験があれば、領域・プログラム名、プロジェクト名、当時の研究代表者名を記載し、自身がどのような役割を担っていたのかについて簡潔に記載してください。* |

*・・・ グループリーダー１人につき１ページ（目安） ・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式10】　人権の保護及び法令等の遵守への対応**

*※研究開発計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究開発、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究開発、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究開発など法令等に基づく手続きが必要な研究開発が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記載してください。
例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究開発機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。*

*※チーム内に海外の共同研究グループが含まれる場合は、研究開発代表者グループ及び国内の共同研究開発グループの安全保障貿易管理に係る規程の整備状況について、必ず記載ください。*

*※なお、該当しない場合には、その旨記載してください。*

**【様式11】　利益相反マネジメント**

*※評価者（プログラム総括、プログラムアドバイザー）との利害関係の有無、及び研究代表者に関係する機関の参画の有無について、以下のチェック項目にて申告してください。該当する場合は、その内容を具体的に記載してください。*

*※利益相反マネジメント、利害関係の定義など詳細については、公募要領「4.7.2 選考体制と利益相反マネジメントの実施」もご確認ください。*

*※プログラム総括及びプログラムアドバイザーの一覧は、以下のウェブページを参照ください。*<https://www.jst.go.jp/ristex/funding/solve-koritsu/index.html>

**１．研究代表者と、プログラム総括との利害関係の有無**

　　　プログラム総括との利害関係が　[ ]  ある　　　[ ]  ない

　　　利害関係の理由・内容：

　　　＜記載例＞現在進行中のものではないが、過去、〇〇事業「プロジェクト」（代表者○○、20XX～20XX年）にてプログラム総括と共同研究を実施しており、利害関係にあたる可能性がある。

**２．研究代表者と、プログラムアドバイザーとの利害関係の有無**

　　　プログラムアドバイザーとの利害関係が　[ ]  ある　　　[ ]  ない

　　　利害関係にあるアドバイザー名：○○ ○○

　　　利害関係の理由・内容：

　　　＜記載例＞現在、同一の組織に所属しており、利害関係者にあたる。

公募要領「4.7.2 選考体制と利益相反マネジメントの実施
（1）選考に関わる者の利益相反マネジメント」**利害関係者の要件**（要旨）

　　a. 提案者と親族関係にある者。

　　b. 提案者と大学、国立研究開発法人等の実施機関において同一の学科、専攻等または同一の
企業に所属している者。

　　c. 提案者と緊密な共同研究を行う者。(例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、
同一目的の研究メンバー、あるいは提案者のプロジェクトの中での研究分担者等、提案者と
実質的に同じ研究グループに属していると考えられる者。)

　　d. 提案者と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある者。

　　e. 提案者のプロジェクトと直接的な競争関係にある者。

　　f. その他JSTが利害関係者と判断した者。

**３．研究代表者に関係する機関に所属する、主たる実施者の参画の有無**

　　　研究代表者に関係する機関に所属する、主たる実施者の参画が　[ ]  ある　　　[ ]  ない

　　　該当する機関名（研究者氏名）：○○○○株式会社（○○ ○○）

　　　その理由・内容：

　　　＜記載例＞研究代表者の研究開発成果をもとに設立した機関であり、現在は技術顧問の立場で直接経営には関わっていないが、2023年7月より役員に就任する可能性がある。

公募要領「4.7.2 選考体制と利益相反マネジメントの実施
（2）研究代表者の利益相反マネジメント」**研究代表者に関係する機関の要件**（要旨）

　　「研究代表者に関係する機関」とは、以下のいずれかに該当する機関をいいます。
なお、a及びbについては研究代表者のみではなく、研究代表者の配偶者及び一親等内の
親族（以下、「研究代表者等」という）についても同様に取り扱います。

　　a. 研究代表者等の研究開発成果を基に設立した機関。（直接的には経営に関与せず技術顧問等の
肩書きを有するのみの場合、株式を保有しているのみの場合を含む。）

　　b. 研究代表者等が役員（CTOを含み、技術顧問を含まない。）に就任している機関。

　　c. 研究代表者が株式を保有している機関。

　　d. 研究代表者が実施料収入を得ている機関。

*・・・ 様式10、様式11で2ページ程度（目安） ・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*